

第65回さんば会 熊本県山都町バスハイク

世話人：樋口靖則、久保道人

- <留意事項> 新型コロナウイルス感染予防対策として、①マスク着用 ②10名前後でのグループ行動並びに大声での会話自粛を心がけた。
- <実施日> 2021年（令和3年）11月13日（土）
- <参加者数> 33名
- <集合解散> JR鳥栖駅（東口駐車場）サッカー場側 7時55分集合、8時出発～18時15分解散
- <目的地> 熊本県山都町（円形分水、幣立神宮、通潤橋、通潤橋史料館、通潤酒造）
- <スケジュール> JR鳥栖駅（東口）8:00出発 → （詫麻PAにてトイレ休憩） → 道の駅通潤橋にて現地ガイドさんと合流9:50 → 円形分水10:20発 → 幣立神社11:05発 → そば文楽（昼食）12:20発 → 通潤橋14:00発（史料館含む） → 通潤酒造15:15発 → 道の駅通潤橋15:35発 → （北熊本SAにてトイレ休憩） → JR鳥栖駅（東口）18:15着（解散）
*帰路九州高速道路内での事故渋滞に遭い、帰着遅れが発生。

- <散策場所概要> 1) 円形分水：通潤橋から約6km上流にある農業用水を分ける施設。中央から水が吹き出し、田の面積に応じて平等に水を分ける優れたもの。
- 2) 幣立神宮：いつ建てられたのか詳しい年代は不明ですが、健甕竜命（たけいわたつのみこと）が高千穂から阿蘇へ向かう途中に建てたのが始まりと伝えられていて、日本最古の神社とされています。88もの多くの神様が奉られていることから縁結び・家運隆盛・出世・事業発展などのさまざまなご利益があると言われています。
- 3) 通潤橋：江戸時代の後期、惣庄屋 布田保之助は、水不足によって苦しい生活を強いられていた農民たちを救うため、「通潤用水」と呼ばれる水路の建設を成功させました。それは、幾多の困難を伴う前代未聞の大事業だったと伝えられています。日本最大級の石造りアーチ水路橋で国の重要文化財に指定。長さは約76m、高さ約20mアーチの半径約26.5m。昔は通水管に詰まったゴミなどを取り除く為の放水だった。現在は
- 4) 通潤酒造：寛政蔵は現・通潤酒造の創業者である備前屋清九郎によって1792（寛政四）年（江戸時代中期）に創建されました。熊本県内に現存する最も古い歴史を持つ蔵です。2016年の熊本地震でこの寛政蔵を含む10棟以上の蔵が損壊し、4,000リットルの酒を失うという大きな被害を受けられましたが、築200年の蔵“寛政蔵”を約3年の歳月をかけてリノベーションし、2019年の春にリニューアルオープンされました。

- <会費概要> ①参加費：250円 ②通潤橋史料館入場料：200円 ③バス代金：1,000円 ④昼食(A)1,400円 昼食(B)1,050円
*今回松九会より、参加者一人当たり2,000円の補助有り。

<参加者>

1グループ				2グループ				3グループ			
NO	氏名	昼食	金額	NO	氏名	昼食	金額	NO	氏名	昼食	金額
2	森一登貴子	B	2,500	4	小林正勝	B	2,500	6	古澤悦郎	B	2,500
8	加藤進一郎	A	2,850	11	中川明夫	A	2,850	13	早川幸夫	A	2,850
10	徳永敏夫	A	2,850	11	中川千恵子	A	2,850	17	川野克睦	B	2,500
21	緒方進	A	2,850	22	中國春江	B	2,500	24	小副川雅信	B	2,500
25	福岡茂明	B	2,500	26	千綿千恵子	B	2,500	30	岡本武彦	A	2,850
28	神代三千代	B	2,500	41	碓康利	A	2,850	40	八坂登美子	A	2,850
35	下橋龍治	A	2,850	46	平野哲也	A	2,850	40	八坂正敏	A	2,850
43	松本美代子	B	2,500	102	堀川繁太郎	持参	1,450	42	久保道人	B	2,500
52	西川吉弘	B	2,500	115	村上幸司	A	2,850	48	酒井晴江	B	2,500
60	宮地芳隆	A	2,850	115	村上利加	A	2,850	59	吉田勝則	A	2,850
114	石丸幸弘	B	2,500								
合計			29,250	合計			26,050	合計			26,750
61	前田究	A	2,850	16	樋口靖則	A	2,850	総合計			87,750

<挨拶と説明>



<樋口世話人>



<小副川地区幹事>



<本田さん(ガイド)>

<グループ写真>



<1グループ>



<2グループ>



<3グループ>

<バス車内>



<散策スタート>



<円形分水>



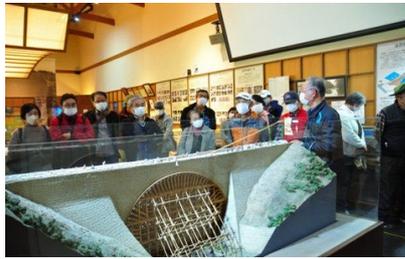
<幣立神宮>



<通潤橋放水>



<通潤橋にて>



<通潤橋史料館にて>



<通潤酒造にてお買い物>



<黄葉鮮やか>



<紅葉鮮やか>



<昼食>



<そば文楽>



<文楽温つゆそば>



<小鉢>



<食事の様子>



<そば専門店のお店で適度な量のアルコール>

<ガイド説明>



<山都町語り部会・本田博士さん>

<熊本地震とコロナウイルス感染等で5年ぶりの団体ガイドとのこと>

<新入会員>

帰路のバス車内で3名の方のさんぽ会正式加入を満票で承認されました。



<石丸幸弘さん>



<村上幸司さん、利加さん>

<全体写真>



<円形分水にて>



<通潤橋にて>